東北大学病院緩和医療科　初期研修について

緩和医療科研修を勧める人

・「将来がん診療に携わりたい」⇒支持療法を学べます
・「精神科に興味がある」⇒複雑な病態（せん妄など）を経験できます
・「内科系に進みたい」⇒総合診療的な幅広い診察スキルが身につきます
・「終末期医療をみてみたい」⇒臨死期のケアを学べます

1　定員

・同時期に4名まで（原則として病棟2名、緩和ケアチーム2名まで）
- 病棟：緩和ケア病棟での研修
- 緩和ケアチーム：一般病棟でのコンサルテーション型研修

2　指導体制

・指導医2-3名の下、診療チームの一員として診療する。
・指導医数　8名

3　研修期間（**自由選択**での研修になります）

・1ヶ月から受け入れ可能です。
・内科系研修を2ヶ月以上は修了していることが望ましいです。
・原則として緩和ケア病棟での研修となります。
・2ヶ月以上の研修希望者は緩和ケアチームでの研修も可能です。

4　研修到達目標

・緩和医療についての理解を深める。
・患者を全人的に理解し、包括的評価を行える。
・チーム医療を実践できる。
・痛みのマネジメントができる。
・痛み以外の身体症状のマネジメントができる。
・精神症状、心理社会的問題、スピリチュアルな問題に対応できる。
・患者、家族、およびチーム医療を構成する医療従事者とコミュニケーションをとることができる。
・患者、家族の意向や価値観、希望を尊重しながら面談を行うことができる。
・家族の感情に配慮しながら、死亡確認を行う。

患者さんの辛さを和らげＱＯＬを高める
緩和ケアは全ての医療の基本です。
専門医を目指す方でなくとも、一時期でも我々の
仲間になっていただいて損はさせませんよ！　**教授　井上彰**

東北大学病院緩和医療科　初期研修について

緩和医療科研修の特徴

・指導医との距離が近い⇒密な指導を受けられます
・病態生理や薬理学を基に症状緩和にアプローチ⇒アセスメント力の向上
・全人的医療を学べる⇒「病」という問題を抱える「人」と関わります
・コミュニケーション力の向上⇒患者さん・家族の価値観に沿った関りが出来るようになります
・最期まで担当⇒臨死期のケアを通して密に患者さんに関わります

5　研修内容・スケジュール

病棟

8時30分～　朝回診
5-10名の担当医として回診・診察してカルテ記載します。

9時30分～　新入院患者の診察・面談
診察・アセスメント・プランニング・面談の全てを担当します。

13時30分～　病棟カンファレンス
新入院患者のプレゼンのほかリハビリ・リエゾンカンファレンスでプレゼンします。

15時頃～　夕回診
朝に出した指示（投薬）の効果も確認しながら回診します。

緩和ケアチーム

8時30分～　情報収集
30-40名の患者さん（担当は10-20名）の情報収集をしてプレゼンに備えます。

9時30分～　チームカンファ
担当患者さんのプレゼンを行います。

10時30分～　回診・新患診察
担当患者さんの診察や新患診察、面談や病棟カンファレンスに同席します。

15時頃～　カルテ記載・ディスカッション
マネジメントの方針をディスカッションし、診察した患者さんのカルテ記載をします。

6　当直体制

・緩和医療科研修中は救急当直ではなく科当直を行います。
・自宅で待機しながらのon call当直になります。（宅直）
・お看取りや緊急入院時の対応を上級医と行います。

7　その他

・数日単位で他院での研修が可能です。
・岡部医院仙台での在宅医療研修が可能です。
・仙台ペインクリニックでペインクリニック研修が可能です。

8　お問い合わせ

E-mail：yusuke.hiratsuka.e6@tohoku.ac.jp
Facebook：「東北大学　緩和」で検索！
HP：http://www.kanwa.med.tohoku.ac.jp/index.html